

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



人を思う。未来を思う。

商工中金

2021年10月12日

商工中金

百十四銀行と連携し、生産設備や塗装工程の強化を図る 株式会社兼廣様を金融面からサポート

商工中金は、厳しい経営環境の中、業績の改善に取り組む中小企業の皆さまを、地域金融機関や関係機関等との連携を取りながら、積極的にサポートしています。

商工中金（神戸支店）は、株式会社兼廣様（本社：兵庫県神戸市西区、代表者：橋本 廣様）に対し百十四銀行と連携し、新型コロナウイルス感染症の影響に対応する設備資金等2億7,000万円の内、2億1,000万円を融資しました（百十四銀行6,000万円、商工中金1億5,000万円）。なお、商工中金の融資は、期間20年期限一括償還型の資本性劣後ローンを適用し、同社の財務体質強化にも寄与しています。

同社は、エンジン周りの大型構造品やアーム等の可動部に使われる軸受け部品等の建設機械部品製造業者です。国内2拠点、中国にも製造拠点を構え、試作設計から量産工程を一貫して手掛け、販売先の大手製造業者のニーズにきめ細やかに対応しています。

同社は、時代のニーズに合わせ産業機械の専門商社から建設機械部品製造業者へと事業を変革させつつ、事業規模を拡大させてきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響等により、受注減少や製造ライン停止を余儀なくされました。一方で、新たな販路の拡大に向け、短納期対応に磨きをかける生産設備や塗装工程の強化などに取り組んでいます。

商工中金は、現場訪問や経営者とのヒアリングを通じた綿密な事業性評価をValue upレポート（※）にまとめ、同社の強みや財務上の課題を共有。事業計画の妥当性を検証するとともにブラッシュアップをサポート。同計画を民間金融機関と共有し、百十四銀行は必要な設備資金を融資、商工中金は資本増強効果のある資本性劣後ローンを提供し、同社の財務基盤の拡充と金融取引体制の強化に貢献しています。

（※）お客さまとの信頼関係を深め、課題やニーズを共有し、企業価値を高めるために作成する事業性評価のツール

商工中金は、地域経済にとって必要不可欠な中小企業の価値向上を、地域金融機関や関係機関と連携しサポートすることで、地域活性化に貢献してまいります。

【株式会社兼廣様の概要】

所在地	兵庫県神戸市西区伊川谷町潤和 777-1
代表者	橋本 廣様
資本金	2,000万円
従業員数	81人（2021年8月現在）
設立	1970年6月
業種	建設機械部品製造業



【神戸市内の本社工場】